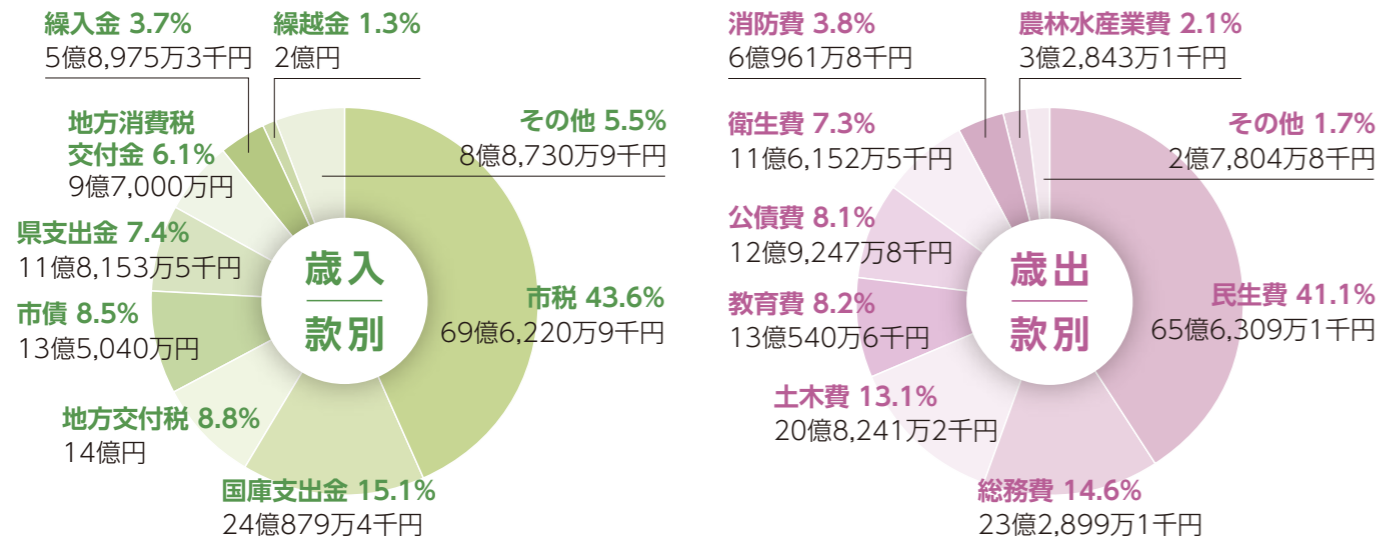


# 令和4年度 一般会計当初予算 159億5,000万円



**用語の解説**

**歳入**  
 市税：市民の皆さんから市に納めていただいている市民税や固定資産税、軽自動車税など  
 国庫支出金：市が行う事業に対する国からの負担金や補助金など  
 地方交付税：地方自治体の財政力に応じて国税の一部が交付されるもの  
 市債：公共施設の建設などの際に、財源を補うための借入金  
 県支出金：市が行う事業に対する県からの負担金や補助金など  
 地方消費税交付金：消費税10%のうち2.2%が地方消費税であり、県から市へ按分して交付されるもの  
 繰入金：他会計や基金などから一般会計に移されるもの  
 繰越金：前年度から繰越したもののほか、地方譲与税や公共施設の使用料、証明書の発行手数料など

**歳出**  
 民生費：子育て支援や障がい者(児)福祉、高齢者福祉など社会保障に要する経費  
 総務費：全般的な事務、財産管理、戸籍、税の課税や徴収などに要する経費  
 土木費：道路、公園などの建設や維持及び都市計画などに要する経費  
 教育費：学校教育や生涯学習活動、図書館・公民館などの管理に要する経費  
 公債費：市が借り入れた市債の元金・利子の返済に要する経費  
 衛生費：予防接種や健康診断、環境対策に要する経費  
 消防費：消防の活動や施設の維持などに要する経費  
 農林水産業費：農業委員会の運営や農業の振興に要する経費  
 その他：議会費や商工振興などに要する経費

# 令和4年度当初予算の概要をお知らせします

令和4年第1回白岡市議会定例会で、令和4年度の予算が一部修正のうえ、可決されました。令和4年度一般会計当初予算は、歳入歳出それぞれ159億5,000万円、前年度と比べて9.8%の増になり、過去最大の予算規模となりました。

第6次白岡市総合振興計画の初年度として、まちづくりの将来像「みんなでつくる 自然と利便性の調和したまち しらおか」を実現するため、「総合振興計画の重点取組項目の推進」、「市民の生命・財産を守るための時期を逸すると実現困難な施策・事業の推進」、「ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた適切な事業内容の転換」の3つの基本方針により予算を編成したものです。

これに特別会計、公営企業会計を含めた予算の総額は280億5,394万4千円で、前年度と比べて7.5%の増になります。



白岡市長  
藤井 栄一郎

## 令和4年度施政方針

本市は、埼玉県で40番目の市として平成24年に市制施行し、本年10月1日に10周年を迎えます。また、全国的に人口減少が進む中、本市の人口は増加傾向にあります。これは、子育て支援や都市基盤整備など、魅力あるまちづくりを着実に推進してきたことによる結果であると、たいへんうれしく感じています。

近年は、新型コロナウイルス感染症の流行などにより、これまで経験したことのない時代の転換期を迎えております。

令和4年度は、「第6次白岡市総合振興計画」に基づき、時代の変化

## 令和4年度予算のポイント

### ① 医療福祉拠点の整備を推進



白岡中学校東側の区域において、健康・医療・福祉の充実を図るための土地利用の実現に向けた取組を推進します。

### ② 学童保育所の新設



待機児童の解消と保育環境の向上を図るため、南第三児童クラブ(仮称)を新設します。

### ③ のりあい交通の充実



交通弱者のかたがたの移動手段を確保し、利便性の向上を図るため、目的地に市外の蓮田病院を追加します。

### ④ 防犯灯などのLED化にESCO事業を導入



照明灯をLEDランプに交換し、電気料金などを削減し、削減された経費で照明灯の維持管理を行います。

※この他にもさまざまな支援策を講じます。詳しくは、市公式ホームページをご覧ください。



と市民のニーズに合った新たなまちづくりを進めてまいります。

本計画に掲げる将来像である「みんなでつくる 自然と利便性の調和したまち しらおか」の実現に向け、本市のポテンシャルを最大限に生かしつつ、さらなる飛躍に向けて白岡市の確かな礎を築いてまいります。

**健康・医療・福祉施策**といたしましては、産婦の心身の健康保持のための産後健診を開始するほか、市民が抱える複雑化、複合化した支援ニーズに対応するため、「福祉の総合相談窓口」を福祉課と白岡市社会福祉協議会に設置するとともに、成年後見制度に関する相談窓口として「白岡市成年後見サポートセンター」を白岡市社会福祉協議会に設置してまいります。

**子育て支援・教育施策**といたしましては、子育て世帯などを対象に子どもに関する相談体制や子どもの見守り体制の強化を図り、虐待の早期発見、早期予防に努めてまいります。また、教育支援センターに常勤職員を配置するとともに、夏休み期間中の支援や臨床心

理士などによる相談などの体制を整備し、教育支援センターの充実を図ってまいります。

**都市基盤整備施策**といたしましては、引き続き、都市計画道路白岡宮代線や白岡駅西口線の整備をスピード感を持って進めるとともに、市民の皆さんが安心して暮らして続けられるよう白岡中学校東側の区域における医療福祉拠点の整備を進めてまいります。

そのほか、遊休農地の解消や地域農業の活性化を図るため農業法人などに対する支援や、安定的で信頼される行財政運営を行うため自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進など各種施策を推進し、さらなる市政の発展を図ってまいります。

令和4年度も、市民の皆さんと同じ目線に立ち、さまざまな施策を一步一歩着実に推進し、「誰もが住みよいまちづくり」のため、市政運営に全力を尽くしてまいります。引き続き、市民の皆さんのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。